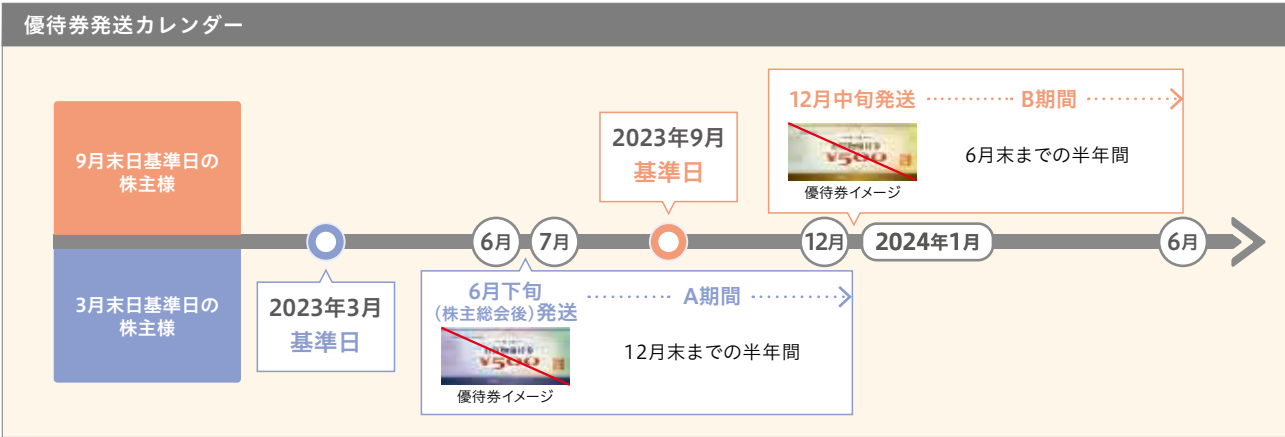


株主様ご優待制度について

株主様の日頃のご支援に感謝し、ヤマダデンキの国内各店舗でご利用いただける「株主様お買物優待券」を贈呈しています。

所有株式数に応じた株主優待

贈呈回数	基準日	対象となる株主様	持株数	額面	贈呈枚数	優待額	ご利用有効期間
年 2 回	3月末	基準日の 当社株主名簿に 記録された株主様	100株～499株	500円	1枚	500円分	半年 (6ヵ月) A期間
			500株～999株	500円	4枚	2,000円分	
			1,000株～9,999株	500円	10枚	5,000円分	
			10,000株以上	500円	50枚	25,000円分	
	9月末		100株～499株	500円	2枚	1,000円分	半年 (6ヵ月) B期間
			500株～999株	500円	6枚	3,000円分	
			1,000株～9,999株	500円	10枚	5,000円分	
			10,000株以上	500円	50枚	25,000円分	



- 利用条件
- お買い上げ金額1,000円(税込)ごとに1枚(500円)の優待券が利用可能。
 - 1回のお買物で、最大50枚まで利用可能。
- (ご利用にあたっての詳細は、株主様お買物優待券の裏面をご確認ください。)

詳しい株主優待制度はこちらでご覧いただけます



くらしをシアワセにする、ぜんぶ。

第46期
株主通信

2022年4月1日から2023年3月31日まで
株式会社ヤマダホールディングス

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日頃より格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。

当社グループは“暮らしまるごと”のコンセプトのもと、家電を軸とした快適な住空間の提供を目指す「生活基盤産業としての新しい業態」として、これまでにない新しいマーケットの創出に取り組んでいます。

2023年3月期は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、社会経済活動が正常化に向かう一方で電力料金の高騰や物価上昇など、消費者を取り巻く環境は依然厳しい状況となりました。そのような事業環境のなか、当社グループは持続的成長を図るべく中期経営計画の達成に向けた重点施策とともに継続して経営改革に取り組み、その成果は着実に定着しています。

これからも、経営理念である「創造と挑戦」「感謝と信頼」の思いを胸に、企業の成長と発展のために常にイノベーションを発揮し続けてまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長 兼 社長 CEO
山田 昇

事業の概況

家電小売業界では、新型コロナウイルス感染症の影響における巣ごもり需要の反動減および従業員の感染による勤務時間減少に伴う販売機会ロス、エネルギー価格や原材料価格の急騰を受け、製品原価や各種コストの増加などがあった一方、省エネ性能の高い高単価なエアコンや冷蔵庫などが好調に推移しました。

当事業年度は、当社グループにおける「YAMADA HD 2025 中期経営計画」スタートの年として、目標達成に向け以下の4つの重点施策「①店舗開発の積極的推進」「②Eコマースの強化推進」「③SPA商品の積極的開発」「④各事業会社別 課題の目標設定で目標達成を図る」を実行することにより継続した増収増益体制を構築しました。

しかしながら、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は前年同期比1.2%減の1兆6,005億86百万円、営業利益は同32.9%減の440億66百万円、経常利益は同

32.5%減の500億64百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同37.0%減の318億24百万円となりました。減収減益の主な要因は、デンキ事業において「①前年度より継続している一過性の巣ごもり需要反動減」「②従業員の新型コロナウイルス感染による勤務時間減少に伴う販売機会ロス」「③市場と連動したDX化による売上と利益の最適化に向けた改革途上に伴う粗利率の低下」「④政策的なバランスシート改革の取り組みによる仕入抑制」の4つが影響したことによる収益の減少によるものです。

新型コロナウイルス感染症の出口が見え、社会経済活動の回復や物価上昇の鈍化、訪日客の増加に伴うインバウンド需要の回復期待などの市場環境を背景に、「YAMADA HD 2025 中期経営計画」2年目として、各セグメントの重点施策を実行し、計画数値の達成そして持続的な成長に向けて体制をさらに強固なものにいたします。

連結決算ハイライト



YAMADA HD 2025 中期経営計画 について

市場の変化を的確に捉え重点施策と経営改革を実行し持続的成長へ

新型コロナウイルス感染症の影響や巣ごもり需要反動減など、厳しい事業環境のなかではありますが、中期経営計画に掲げる重点施策とともに継続して経営改革を実行し、事業の成長を加速させます。当社グループの核となるデンキセグメントにおいては、家電はもちろん家電と親和性の高い家具・インテリアや生活雑貨、自転車や玩具など、暮らしに関わる製品のすべてが揃う、地域最大級の売場面積と品揃えを誇る「LIFE SELECT」を中心に、売場面積拡大に向けて積極的な店舗開発を推進します。

重点施策

1

店舗開発の積極的推進 〈売場面積拡大・エリア別店舗開発の推進〉

LIFE SELECT店を中心とした出店加速 当期、前期とあわせて計29店舗をオープン

LIFE SELECTは、これまでの出店を通じてお聞かせいただいたお客様の声や市場の反応を踏まえた結果、売場面積と品揃え・価格、サービスの最適化には4000坪前後が必要と判断しました。今後は、広域商圏エリアや人口を見据え、年間10店舗程度を出店します。既存の「LABI」や「Tecc Land」、「アウトレット・リユース店」「YAMADA web.com店」など、お客様のニーズに対応した様々な店舗業態を再配置してマーケットに応じた店舗ネットワークを構築いたします。



● Tecc LIFE SELECT 仙台あすと長町店
宮城県初店となるLIFE SELECT業態店舗



● Tecc LIFE SELECT 尼崎店
ヤマダデンキ郊外型店舗では史上最大規模



● Tecc LIFE SELECT 前橋吉岡店
創業原点の地に2023年4月オープン



重点施策

2

Eコマースの強化推進

DX推進 (EC × リアル店舗 × デジタル)

顧客体験と運営効率を向上させるDXの更なる推進

DX最新型 YAMADA web.com店

ヤマダウェブコム(ヤマダデンキ公式ECサイト)で購入した商品の受け取りや宅配機能を持つ、Webとリアル融合型店舗「YAMADA web.com」店は、実店舗での販売に加え、ECサイト販売分の商品出荷および宅配を担う拠点となることから、取り扱う家電商品はヤマダデンキの都市型店舗級となる充実した品揃えとなります。最新設備搭載の郊外型店舗としてお客様のニーズにお応えし、お買い物がより便利になるサービスをご提供いたします。



● YAMADA web.com 高崎間屋町店

①電子プライスとヤマダアプリ連携

電子プライスの表示価格は市場価格にもタイムリーに対応する安心価格保証です。お手持ちのスマートフォンを電子プライスにタッチすると即座に製品情報や店舗在庫数等をご確認いただけます。



②スマートカート

セミセルフレジに対応した端末付きショッピングカートです。レジに並ぶ時間を短縮し、スピーディかつスマートにお買い物をしていただけます。



③商品購入カード発券機

気軽に在庫を確認でき、ご購入を決めたら商品購入カードを発券してレジで提示するだけで商品購入が可能です。店内で商品を持ち歩く手間なく気軽に買い物をお楽しみいただけます。



④デジタル広告配信サイネージ

売場各所に多数設置し、人気のヤマダウェブコム特価商品やおすすめ商品等の耳寄りな情報を配信しています。



⑥受取ロッカー

店舗敷地内に設置した受取ロッカーでご注文商品を24時間好きな時間にお受け取りいただけます。混雑状況や閉店時間を気にすることなく、ライフスタイルに合わせたご利用が可能です。



⑤おみせ de 受取

ヤマダウェブコムでご購入いただいた商品を最短30分でお受け取りが可能です。外出の際にご利用いただけて大変便利です。

⑦カーブサイドピックアップ

店舗の指定駐車場でお車に乗ったまま、ご注文商品をお受け取りいただけます。



重点施策

3

SPA商品の積極的開発

お客様の声を活かした商品開発

ヤマダオリジナル商品は高品質でリーズナブル

お客様からのご要望をもとに、暮らしを便利で快適にする機能を搭載。
家電はもちろん、家具・インテリアまで様々な商品を開発しています。

オリジナルルームエアコン「RIAIR(リエア)」

ヤマダオリジナルエアコン
R I A I R
リエア



- 1 空気がキレイ！室内機フリーズクリーン
- 2 電気代節約！室外機フリーズクリーン
- 3 カビ・ニオイ抑制！「内部クリーン」運転
- 4 有害物質除去！活性炭フィルター
- 5 お手入れカンタン！撥水機能フィルター

※空気室外フィルターモジュールは、微粒子や有害物質など全てを除去できるものではありません。使用環境によっては、室温・温度の変化が大きくなる場合があります。

電動昇降テレビスタンド「e-RIZE(イーライズ)」

視聴スタイルに合わせて、リモコンひとつでテレビの高さを調節
できます(電動昇降幅300mm)。



Bluetoothスピーカー&ボディソニック搭載

電動パーソナルチェア「ブラストサウンド2」

ボディソニック(振動機能)で低音を体感、映画やゲームの世界
を大迫力のサウンドで。背と脚部が別々に可動する2モーター電
動リクライニングを採用しています。



重点施策

4

各事業会社別 課題の目標設定で目標達成を図る

住建セグメント

お客様の多様なニーズにお応えする多彩なブランド住宅

多彩なブランド住宅



こだわりの構造と
高いデザイン性の注文住宅



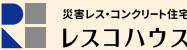
完全自由設計で夢をカタチに



オリジナルの企画力とアイデアで
心地よい暮らしをかなえる



標準装備が充実
無理のないコストで余裕のある暮らしを



ひとつ上の安心・安全
災害レス・コンクリート住宅

金融セグメント

“暮らしまるごと”をコーディネートする多彩な金融サービス

金融サービス(一例)

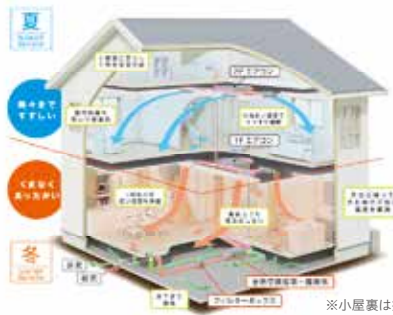
住宅ローン	ヤマダNEOBANK住宅ローン ヤマダフラット35 ヤマダフラットつなぎ ヤマダフラットPLUS	資金決済	LABIカード ヤマダNEOBANKデビットカード
		損保商品	ヤマダの災害安心保険 賃貸保険ダイレクト つながる機器の保険

HINOKIYA

全館空調はもうすぐ、常識になる。

乙空調

一年中、家の温度を快適に。
身体にも家計にもやさしい全館空調です。



※小屋裏は換気のみ、
空調はしていません。

メディアでも
話題！

環境セグメント

ヤマダ東日本リユースセンター群馬工場

「ヤマダ東日本リユースセンター群馬工場」では、ヤマダデンキ店舗にてお客様から買い取りした家電製品を新品同様に再製品化しています。当社グループで扱うリユース製品は、質の高い家電がリーズナブルに購入できること、また、環境配慮の観点からも注目を集め、多数のメディアに紹介されました。



リユース・リサイクルのグループ内完結資源循環型システム

“売る責任”を果たすべく、リユース・リサイクルを中心とした製品ライフサイクルをグループ内で完結する仕組みの構築に向け、環境資源開発を推進しています。

2023年2月に、(株)あいづダストセンターが当社グループ入りしたことにより、使用済み家電の買い取りからリユース工場でのリユース製品化またはリサイクル工場での再資源化、産業廃棄物焼却発電施設(2025年度予定)による廃棄物焼却と発電に加え、焼却残さを埋め立て処分することが可能となります。

これにより、資源循環を中心とした一気通貫のグループ内完結型システムが構築されることとなり、「循環型社会の構築と地球環境の保全」に向けた取り組みを推進いたします。

■ 家電高度リサイクルプラントの新設



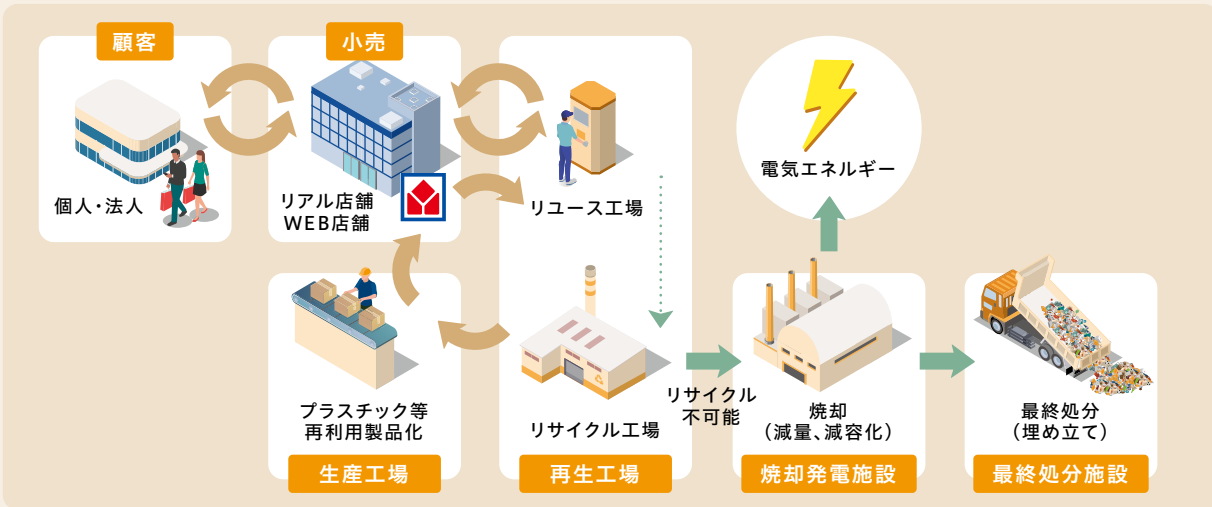
小型家電リサイクル、100万台処理体制へ

■ ヤマダ環境資源エネルギープラントの新設



高効率の廃棄物発電プラントの新設
処理能力86,000トン／年間
発電能力62,000MW／年間

■ グループ内完結資源循環型システム



SDGsの取り組み

SDGs目標達成に向けた社会課題を「自分ごと」と捉え、会社として、個人として、できること、やるべきことに真摯に向き合い、持続可能な社会への取り組みを推進しています。

■ フードドライブ



家庭で余っている食品を募り、高崎市社会福祉協議会へ寄付しました。寄付した食品は、子ども食堂や学習支援団体、生活困窮者支援団体等への支援品としてご活用いただきました。

■ SDGsマイスター制度

当社が掲げるSDGs目標達成への重要課題に向き合うための教育制度を新設しました。SDGsの基礎知識習得と、社会課題を「自分ごと」と捉えて行動様式を変化させることのできる人材の育成を目的とし、筆記試験合格者にはSDGsに関する取り組みの報告を必須としています。



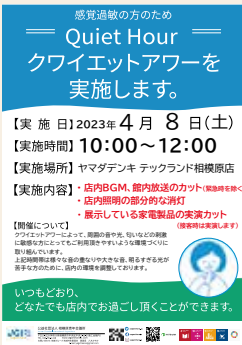
■ サニタリーボックスの設置



治療・加齢のため尿漏れパッド・大人用おむつを使用する方やトランスジェンダーの方など、ご来店くださるすべてのお客様に安心して快適にお買い物を楽しんでいただくために、全国ヤマダデンキ（一部店舗を除く）で男性用の個室トイレにサニタリーボックスを設置しています。

■ クワイエットアワー

感覚過敏のある方に配慮し、一時的に音の重なりや光の刺激を緩和するため、店内の環境を調整する取り組み「クワイエットアワー」をヤマダデンキ テックランド相模原店にて実施しました。「音」が障害となる方々がいらっしゃることを知り、障害のある方への対応を考えるきっかけとすることを目的として、2023年5月からは定例実施いたします。



会社概要

(2023年3月31日現在)

会 社 名	株式会社ヤマダホールディングス
本社所在地	〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号
創 業	1973年4月
設 立	1983年9月
資 本 金	711億円
従 業 員 数	連結25,284名※ ※平均臨時雇用者数を除く

■ 株式の状況

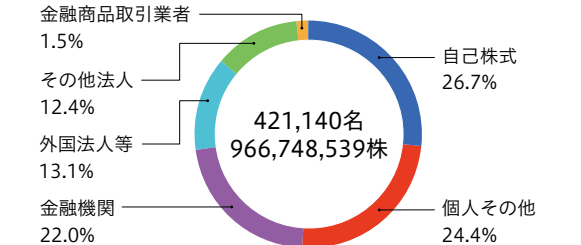
発行可能株式総数	2,000,000,000 株
発行済株式の総数	966,748,539 株
株主数	421,140 名

■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	115,324	16.28
株式会社テックプランニング	65,327	9.22
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	35,979	5.08
山田 昇	28,924	4.08
ソフトバンク株式会社	24,200	3.42
株式会社群馬銀行	12,000	1.69
ジェービー モルガン チェース バンク 385770	9,595	1.35
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	8,479	1.20
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	7,153	1.01
株式会社東和銀行	7,008	0.99

(注) 1. 当社は、自己株式を258,493千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別所有株式数分布状況



■ 株主メモ

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月下旬
基 準 日	3月31日
単 元 株 式 数	100株
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お 取 扱 窓 口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引先の証券会社等へご連絡をお願いいたします。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取り扱い店にてお取り扱いいたします。なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問い合わせください。
専 用 ホ ー ム ペ ー ジ	https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/ 「株式に関するお手続き」で一部届出用紙の出力ができます。
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
お 問 合 せ 先	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
お 取 扱 店	みずほ信託銀行株式会社※ 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未 払 配 当 金 の お 支 払	みずほ信託銀行株式会社※ 本店および全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
公 告 方 法	電子公告 当社は公告を下記ホームページに記載しております。 https://www.yamada-holdings.jp/